

第12回金融教育に関する小論文・実践報告コンクール

## 推奨実践事例賞

研究校部門

# 小学校における職業体験学習の 実効性を探る

～「私たちのハローワーク『働くことの価値』を見つけよう!」の実践を通して～

福岡県・八女市立矢部小学校 教諭 廣田 知良

知るぽると

[www.shiruporuto.jp](http://www.shiruporuto.jp)

© 金融広報中央委員会 2015

## 1. はじめに

「先生は子どもの頃は何になりたかったですか」「どうして学校の先生になろうと思ったんですか」このような質問を子どもたちから何気に話しかけてくることがある。このような姿は、子どもたち自身が自らの将来に思いをめぐらせ、自分の将来や生き方について考えるための情報を得ようとする心の表われであろう。こうした姿の表われは、小学校低学年においても見られることがあり、子どもたちはかなり早い段階から身近な社会の様子に目を向け、自分の将来を考える意識が芽生えているということである。

一方、キャリア教育の推進に関しては「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」と題した中央教育審議会の答申（平成23年1月）<sup>1)</sup>がなされ、これは『金融教育プログラム』<sup>2)</sup>に記載されたキャリア教育に関する分野の目標ともそのねらいが一致している。

このような児童・生徒の実態と社会の要請を背景に各学校で様々な取組が行われている。なかでも体験的な活動の充実が重要視され、小学校高学年の具体的な方策例として職業見学が挙げられている。中学校においては職場体験の活動が具体的に実施されているが、小学校においても見学のみならず、可能な範囲で実体験を伴う方がより学習の効果を上げるのではないかと考えた。実際、職場体験活動が実践されている学校もある。

そこで、これまでの実践の反省をもとに、第6学年総合的な学習の時間で単元「私たちのハローワーク『働くことの価値』を見つけよう！」の授業を試み、小学校における職業体験活動を方策とした授業の実効性を探ることとした。

## 2. 実践の内容

### (1) 指導計画の立案と教材化に向けて

資料1は、単元「私たちのハローワーク『働くことの価値』を見つけよう！」の指導計画である。この学習の目標は指導計画に記載した通りであるが、その達成に向けた学習活動の構成を工夫したポイントをまとめると以下の通りである。

#### (学習活動の工夫点)

- 子どもの問題解決力育成をねらい、単元全体を最初から見通すのではなく学習課題の解決を通して次の課題が生み出されるようなスモールステップの計画とする。
- 社会を支える様々な職業の存在を知り認識を広げるための職業調べとその報告会を仕組む。
- 職業に対する認識が広がり興味関心が高まったところで職業体験学習を仕組む。この活動は2回行い、まずは体験することで働くことの大変さを実感し、その反省をもとに2回目の活動に臨むようにする。
- 働くことの価値を多面的に考えることができるように、自己評価だけでなく事業所評価(勤務評価表)をいただく。

特に、職業体験学習の実施には子どもたちを受け入れていただく事業所が必要であるため、事前に市内の多数の事業所に受け入れ要請を行った。この際に留意したことは、小学生でもできる仕事内容があり2回の体験活動で事業所評価をいただけることであった。最終的に、公務員(市役所)・保育士(2保育園)・製造業(工場)・介護士(福祉施設)・サービス業(地域交流センター)の6事業所に決定した。

### (2) 授業の実践

本授業実践は、指導計画にもとづき25時間の計画で行った。以下、学習課程に沿って主な学習活動とその手だて、子どもたちの様子を具体的に述べていく。

#### ① 多種多様な職業の世界への関心(1~2時/25)

学習への導入として、子どもたちが5学年時に経験した「農作物販売プロジェクト」の学習風景を提示し、働いてお金を得る大変さについて身をもって学んだことを想起させた。そこで、物を販売するという仕事も職業の一つであることをおさえ、事前に調査していた職業に対するアンケートの結果を提示した(資料2)。子どもたちは、クラスの友達がどのような職業や職業選択の観点をもっているのか、その結果に興味深そうに見ていた。

そこで、世の中にはもっとたくさんの職業があることを投げかけ、webサイト「13歳のハローワーク」(資料3)よりダウンロードした職業名のリストを子どもたちに提示した。子どもたちは1000を超える職業名リストに関心を示し、特に気になる職業をピックアップする活動を進めていった。この学習活動は、将来就きたい職業の有無に関わらず、世の

中には実に様々な職業が存在することを認識させるとともに、具体的にどのような仕事をするのかといった興味・関心をもたせることにもなった。

こうして学習課題Ⅰ「職業について調べ、『働く』世界に目を向けてみよう。」を設定し、興味・関心のある職業を選択して調査する計画を立てていった。調査方法は、インターネット・書籍・インタビュー等で情報を収集することとし、調査内容についても調査報告をすとしたらどんな内容を知りたいか考えさせた（資料4）。

### ②職業調査活動及び調査報告会（3～7時／25）

この段階では、学習課題Ⅰをもとに個別の学習課題を設定し、対象とする職業についての情報収集を行った。教師は、子どもたちの情報収集の能力に応じてコンピュータの操作やインターネット上の情報の信憑性に注意して複数の情報を比較すること、情報の収集状況に応じた他の情報手段の助言等を行った。このようにして、収集した情報を整理し、レポートにまとめる情報を選択したりデザインやレイアウトを工夫させるようにしたりして調査報告書を作成していった（資料5）。

職業調査の報告会では、グループ内で報告書を提示しながら自分の調べた職業について説明し、報告書の内容や情報としてのおもしろさを観点としてグループ代表が発表、その後教室に掲示してお互いに読み合える環境を整えた（資料6、資料7）。

### ③職業体験学習Ⅰ（8～16時／25）

ここまでの学習を通じて、子どもたちは「大学に進学したい」「受験や採用試験に合格するために今の勉強もがんばる」と自分の将来や進路について思いをめぐらせるようになった。また、就職するまでも就職してからも、「働く」ことは大変なことでありつつもそこに喜びがあることも知るに至った。そこで、職業に関する知識や考えの高まりを賞賛しつつ、「調べてみて知ることもあるが、実際に働いてみないと本当のことは分からないのでは？」と職業体験学習をほめかけた。「やってみたいです」と意欲を見せた子どもたち。それで、準備を進めてきた職業体験を受け入れてくれる事業所を求人広告の形式で紹介した（資料8）。こうして学習課題Ⅱ「職業体験をしてみよう。」を設定した。

子どもの希望を重視して事業所毎のグループを構成し、日程の確認や諸準備を行った後、職業体験学習Ⅰを実施した。この活動を実施するにあたり、事業所側には勤務評価表を出していただくようお願いしていた（資料9）。内容としては、子どもたちの働きぶりに対して良い点や課題点を率直に述べていただくとともに、対価としてどの程度の給与が支払えるかを記載していただいた。子どもたちは6つの事業所で職業体験学習に取り組み、事業所からの帰りにこの勤務評価表を受け取ってきた。学校でのふり返し活動では、初めての体験で緊張もしたが、おおむね仕事はやり遂げたという反応が多かった（資料10）。

### ④職業体験学習Ⅱ（17～24時／25）

職業体験学習Ⅰを通して、子どもたちの内心にはかなりの達成感が感じられた。しかし、それはあくまで自己評価によるものである。「長年、その職業に携わってきた人から見たらいかがなものか？」この問いに答えるべく、子どもたちが各事業所から受け取ってきた勤務評価表を開封させた。子どもたちの様々な表情がうかがえたが、全体的には驚きの表情や険しい表情が多かった。事業所からの評価と自己評価の間に大きな隔たりがあったからである。「よくがんばっていたが、まかせられない仕事如山ほどあった」「初めてなのだから何をすればいいか分からなくなったらたずねてほしい」等々。給与の面からも同様で、製造業の工場で働いた子どもは、「物作りは楽しかった。だけど、5時間働いて120円分の製品しか作れていなかった」と働く喜びと厳しさを実感していた（資料11）。

そこで、職業体験学習Ⅰの課題解決策を考え、もう一度挑戦する職業体験学習Ⅱを行うこととし、「生きていくためにお金が必要なことは分かっている。働いてお金を得るのが大変なことも学んできた。では、『働くことの価値』はお金を得ることだけか？」と問い、学習課題Ⅲ「『働くことの価値』を考えよう。」を設定した。子どもたちは職業体験学習Ⅰの様子を撮影した動画や事業所からのアドバイスをもとに個々の課題と改善策を練り上げ、職業体験学習Ⅱに臨んだ（資料12）。2回目ということもあるが、各事業所で働く子どもたちの姿からは、笑顔の中に真剣さがあった。働くという行為を通して心の中に様々な思いが生まれているのだろうと感じた。事業所側もこの思いを受け止め、実に様々な仕事を用意して下さった（資料13）。

### ⑤『働くことの価値』を考える（25時／25）

2回の職業体験活動を通して、子どもたち各自が考えた働くことの価値や感想を書いて発表し合った。また、職業体験

に関するアンケートをとり、子どもたちの職業体験学習に対する考えを調査した。子どもたちは1回目の職業体験学習の課題を意識して取り組み、2回目は「あいさつや質問を積極的にしたので職場の方とのコミュニケーションがとれた」「自分から声をかけて園児やお年寄りと楽しく過ごせた」などの成果を実感していた。また、「だんだん慣れてくると無駄話をして、働く場での行動としてはよくなかった」などの反省点も出てきた（資料14）。

発表のまとめとして学習課題である『働くことの価値』は「お金を得ることだけか?」について改めて考えさせた。子どもたちは『働くこと』は、決してお金だけのためではない。物を作ったりサービスしたりすることでお客さんの役に立ち、自分もそのために努力するから自分を成長させる喜びもある」と自分たちなりの結論を出すことができた。

### 3. 考察

本単元の実践を試みて、小学校における職業体験学習の実施について次のように考える。

児童の発達段階を考慮することは大事なことである。様々な事業所の業務内容には、小学生にはどうてい任せられないこともある。しかし、小学生でも可能な内容もまた多くあり、要は事業所側との打ち合わせや連携にかかるところが大きい。また、職業を見学することで職場の様子を知ることができても、それはあくまで個々のイメージによるところとなる。見た目では容易に見える作業でさえ実際にやってみると熟練した技術を要すること、1日の仕事には種々の内容があり職員が仕事の見通しをもって励んでいることなど、見学しただけでは見えないものが職業体験を実施することによって見えてくるのである。同時に、働くことで社会を支えている労働者や家族を支える両親への感謝も生まれてきた。

さらに、自己評価に加え事業所からの評価を行うことにより、自己の課題がより明確になったり自分の考えと実際のずれや社会の厳しさを知ったりすることもできた。加えて学校での学習とは異なり、社会では挨拶や礼儀、会話の仕方なども重視され、学力の高い子どもが必ずしも褒められるわけではない状況を肌で感じることもなった。小学生の体験学習でそこまでする必要があるのかという考えも予想されるが、早くて3年後、高校を卒業しても6年後に社会へと巣立つ子どもたちに働く世界の厳しさを垣間見せることには十分な意義があると思われる。また、職業の数は大変多く、地域による特徴もある。授業を受けた6年生の子どもたちが「いろいろな職業をもっと体験してみたい」と述べたことから、中学校や高等学校で実施される職場体験のよい土台になるであろう。

以上のことから、単元の細かい手立てを改善していく必要性はあるものの、キャリア教育や金融教育の目標達成に向けた方策として、小学校における職業体験学習の実効性は高いと分析する。

### 4. おわりに

この実践は、多くの事業所の協力を得て実現できた。子どもたちを快く受け入れて下さったばかりか、多忙な中に勤務評価を出していただくご面倒をおかけしたにもかかわらず、感謝の言葉まで頂戴した。「自分たちの職業を知ってもらえ、子どもたちにいくら給与を出すか考えることで改めて自分たちの労働について考えた」と。このような真摯な人々によって社会は支えられ、そこに新たな人材として活躍する子どもたちの時代がくることを心待ちにしたい。

注1) 中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(答申)平成23年1月

URL [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1301877.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1301877.htm)

注2) 金融広報中央委員会『金融教育プログラム』平成19年2月

#### <参考文献>

- ・文部科学省『小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編』平成20年6月

## 資料1 指導計画書

第6学年 総合的な学習の時間学習指導計画

指導者 廣田 知良

1 単元 私たちのハローワーク「働くことの価値」を見つけよう！

2 児童の実態

本学級の子どもたちは、第5学年時の総合的な学習の時間において、単元「農作物販売プロジェクト」の学習を行っている。この学習では、自分たちで育てた米や野菜を販売する活動を体験し、働いてお金を得る大変さを実感するとともにお金や物を大切にしようとする意識を高めてきている。また、意識調査の結果によると、将来就きたい職業などに関心を持ち、人の役に立ちたいという意識も芽生えてきている。

そこで、職業体験などの活動を通して、働くことの価値はお金を得ることだけではなく、自己を高め、人や社会に貢献するとともに、働く人々の存在に支えられて自分自身が生きている価値もあることに気づかせたいと考え、本単元を設定した。このような学習を通して、社会を支える一人としての生き方や自己の将来の展望を考える児童の育成を図りたい。

3 単元観

本単元では、働いてお金を得る大変さを学ぶとともに、働くことが人や社会の役に立つことを実感し、自分自身のよりよい生き方を考えることをねらいとしている。

このねらいを達成するために、職業に関する調査活動や職場体験学習を行う。これらの学習活動を通して、多様な職業があることの認識が深まり、そこで働く人々の努力によって社会が成り立つことを理解できる。また、課題解決に向けて計画を立てたり調べたり表現したりする能力を培うことができる。さらに、実際に働くという体験やそこにいる人たちとの関わりから、働く大変さや喜びを実感することができるとともに中学校以降の職場体験学習の土台となる。

このことは、総合的な学習の時間の目標につながるとともに、キャリア教育推進の観点や本校金銭教育目標の「働くことの意義を知り、自分の将来を主体的に考え、その実現に努力する子ども」を育てる上でも意義深いと考える。

4 指導にあたって

本単元の指導にあたっては、子どもたちに働くことに対する関心を持たせ、意欲的に課題解決に取り組ませたい。また、その過程において、問題解決の能力を高めつつ、働くことの価値を見出させたい。

そのために「つかむ」段階では、5年生で行った学習を想起させたり様々な職業に目を向けさせたりして、「働くことの価値を見つけたい」という意識を持たせたい。

「しらべる」段階では、子どもたちの興味・関心をもとに様々な職業について調査し、発表することで多様な職業により生活や社会が成立していることに気づかせる。



「ふかめる」段階では、職業体験学習Ⅰを行い、そこにいる人たちとふれあいながら働くことの辛さや苦労、努力や喜びを実感させる。そして、体験を通して生まれた課題の解決として職業体験学習Ⅱを設ける。


「いかす」段階では、学習をふり返り、働くことの価値は、お金を得るだけではなく、そこに人や社会のために役立ち、その喜びが人としてのよりよい生き方につながることに気づかせ、自分の将来を考えて努力しようとする態度を伸ばしたい。

5 目標

- 働くことに関心を持ち、調査や職業体験の探求活動に意欲的に取り組み、自ら働くことの価値や自分の将来を考えようとする態度を伸ばすことができるようにする。
- 人や社会が様々な職業によって支えられることに気づき、働くことの価値を考えることができるようにする。
- 個々の課題について情報を収集したり整理したりする技能を高めるとともに、他者との接し方の技能を身につけることができるようにする。
- 働くことには、お金を得て生計を立てるだけではなく、人や社会に貢献し、自己を高めていく価値があることを理解できるようにする。

6 指導計画 (25 時間)

段階	学習活動・学習内容 *丸囲み数字は時数	指導上の留意点・評価規準
つかむ	<p>1 5年生での販売体験をふり返るとともに、職業について話し合い、働くことに関心をもつ。①</p> <p>※ HP「13歳のハローワーク」 http://www.13hw.com/home/index.html</p>	<p>○ 5年生の販売活動体験の写真や作文を提示し、自分たちで計画・準備を進め課題解決した達成感や働いてお金を得る大変さをふり返ることができるようにする。</p> <p>○ 職業に関する意識調査の結果や HP「13歳のハローワーク」を提示して様々な職業の存在に気づかせる。</p> <div data-bbox="852 591 1422 696" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価規準 働くことに関心をもつことができる。</p> </div>
	<p>2 職業調査の学習課題を設定し、学習の見通しをもつ。①</p> <div data-bbox="245 819 815 943" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【学習課題1】 職業について調べ、「働く」世界に目を向けてみよう。</p> </div> <p>【活動の見通し】 職業調べ：計画 → 調査 → 整理 → 報告</p>	<p>○ 前時の学習をもとに、自分の興味ある職業を考へておくことを助言するとともに、「働くことの価値はお金を得ることだけ」か問いかけて、学習課題への意識をもつことができるようにする。</p> <div data-bbox="852 898 1422 1003" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価規準 学習課題をつかみ、見通しをもつことができたか。</p> </div>
し ら べ る	<p>3 職業調べの活動を行い、学習課題について考える。</p> <p>(1) 自分の課題を設定し、調査活動の計画を立てる。①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【個別の課題（調べる職業）】</li> <li>・【調査の方法】                      ・【調査の内容】</li> </ul> <div data-bbox="256 1218 485 1406" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> インターネット  <input type="checkbox"/> 書籍  <input type="checkbox"/> 新聞  <input type="checkbox"/> インタビュー                  など             </div> <div data-bbox="507 1218 788 1406" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 調べる職業と理由  <input type="checkbox"/> 仕事の内容  <input type="checkbox"/> 仕事上の苦労や努力  <input type="checkbox"/> 仕事上の喜び  <input type="checkbox"/> その職業に就くまで  <input type="checkbox"/> 感想    <input type="checkbox"/> その他             </div>	<p>○ 学習の概略を説明し、自己の課題と計画を立てるためのワークシートを提示するとともに調べる内容について考えさせる。</p> <div data-bbox="852 1308 1422 1413" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価規準 個々の職業調べの計画を立てることができる。</p> </div>
	<p>(2) 計画をもとに調査活動を行い、情報収集や整理を行い紙面にまとめる。③</p> <div data-bbox="424 1547 810 1727" style="text-align: center;">  </div>	<p>○ 子どもの課題解決活動に応じて、情報収集の方法や技能面や調査内容の質的な面、まとめ方の面を賞賛したり助言したりして意欲的な調査活動ができるようにする。</p> <div data-bbox="852 1621 1422 1749" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価規準 個々の計画に応じた情報を収集・整理し紙面に表現できる。</p> </div>
	<p>(3) 職業調べの報告会を行い、働くことの価値について話し合う。①</p> <div data-bbox="635 1827 810 1995" style="text-align: center;">  </div>	<p>○ 互いの調査結果から学び合えるようにポスターセッションによる報告会を行う。</p> <div data-bbox="852 1868 1422 1995" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価規準 自分の調べたことを友達に分かりやすく伝えることができる。</p> </div>

段階	学習活動・学習内容 *丸囲み数字は時数	指導上の留意点・評価規準
ふかめる	<p>4 職業体験の活動を行い、体験を通して働くことの価値について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【学習課題Ⅱ】 職業体験をしてみよう。</p> </div> <p>(1) 職業体験を行う職場を決定し、各事業所での活動計画を立てる。①</p>	<p>○ 職業体験を受けていただける事業所と事前に打合せを行い、6年生への求人広告として紹介する。</p> <p>【事業所】</p> <p><input type="checkbox"/> 市役所</p> <p><input type="checkbox"/> A 保育園</p> <p><input type="checkbox"/> B 保育園</p> <p><input type="checkbox"/> C 苑</p> <p><input type="checkbox"/> D (株)</p> <p><input type="checkbox"/> 地域交流センター</p>
	<p>(2) 職業体験に向けた準備を行う。③</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【主な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事の内容の把握</li> <li>・ 制作の必要のある準備物</li> <li>・ 職場の人とのコミュニケーション</li> </ul> </div> 	<p>○ それぞれの事業所や仕事場で働く人たちがどのようなことを工夫しているかを考えながら、必要な物を準備したり仕事内容について調べたりすることを助言する。</p> <p>○ 同じ事業所のメンバーで情報の共有化を図る時間を設ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>評価規準 職業体験の見通しをもち、計画的な準備を進めることができる。</p> </div>
	<p>(3) 1回目の職業体験学習を行う。⑤</p>	<p>○ 担任が事業所を訪問し、安全や礼儀、仕事ぶりについて確認する。</p>
いかす	<p>(4) 1回目の職業体験学習をふり返り、2回目の職業体験学習に向けた打合せや準備を行う。③ (本時 1/3)</p> <p>職業体験：計画 → 体験Ⅰ → 反省 →</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【学習課題Ⅲ】 「働くことの価値」を考えよう。</p> </div>	<p>○ アンケート結果や観点を提示し、自分の活動の成果や課題を明らかにさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>評価規準 1回目の職業体験をふり返り、成果や課題について考えることができる。</p> </div>
	<p>(5) 2回目の職業体験学習を行う。⑤</p> <p>職業体験：計画 → 体験Ⅱ → 反省 →</p>	<p>○ 担任が事業所を訪問し、安全や礼儀、仕事ぶりについて確認する。</p>
	<p>5 これまでの学習をもとに、働くことの価値について考えたことを話し合うとともに、自分の将来について考える。①</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>評価規準 学習を通して、働くことの価値について自分の考えを高めることができる。</p> </div>

資料2 児童アンケートの結果

設問：将来自分がつきたい職業は何ですか。また、その職業で働くとしたらどんな気持ちでのぞみたいと思いますか。

**みんなの関心がある職業**

**パティシエ（菓子職人）**  
**医者**  
**保育士**  
**建築士**  
**アナウンサー**  
**教師**  
**看護師**  
**花屋**  
**社長**  
**調理師**  
**ものをつくる仕事**

**働くときの気持ち**

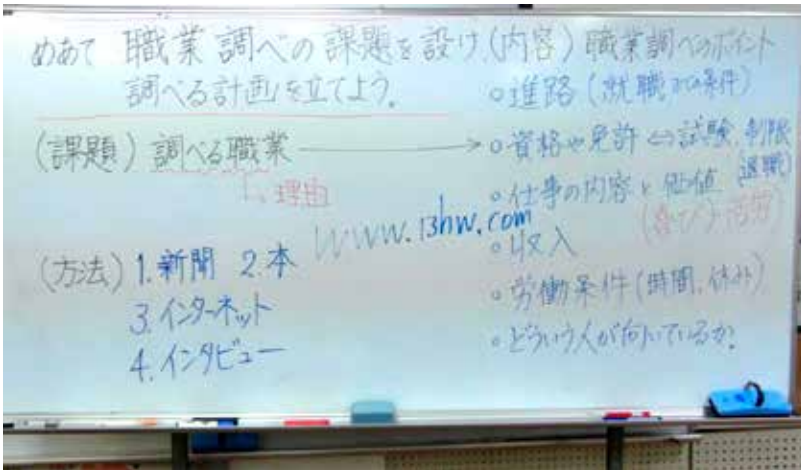
- ・ 一生懸命働く
- ・ 人の役に立つ
- ・ 楽しく働く
- ・ 責任を果たしたい
- ・ 安全な物をつくる
- ・ 一生やめない
- ・ いいものを目指す

資料3 13歳のハローワーク公式サイト (<http://www.13hw.com/home/index.html>)





資料4 職業調査活動で調べる内容



授業時の板書

職業調べで知りたいこと

- 仕事内容
- 必要となる資格や免許
- 試験の有無や年齢制限
- 就職までの進路
- 労働条件
  - ・収入
  - ・労働時間や休日
  - ・定年
- 適性(向き不向き)
- 苦勞や喜び

掲示用に整理した物

資料5 職業調査活動を行う子ども



資料6 職業調査の報告を行う子ども



グループでの報告



代表報告

資料7-1 子どもが作成した報告書①

# 水族館の飼育員

水族館飼育員の仕事...  
水族館飼育員の仕事は、館内の動物や魚のエサやり、水槽の掃除などをしながら、日々彼らの健康管理などをします。

どんな人が向いている？  
観察力と探究力のある人  
例えば「エビはなぜ赤いのかなど生き物の姿や行動の理由を自分で調べていける人。」



水族館飼育員への道  
学ぶ  
大学  
動物・水産系専門学校

就職  
水族館 など

水族館飼育員

水族館飼育員の収入  
水族館飼育員の年収はなんと！  
だいたい

300万〜400万円なんです。

水族館飼育員の休日  
ふつうは一年の1/3なんですけど、多い人で一年の半分も休日があるんです。多いですよ〜

水族館飼育員はこんな人です



この仕事を調べた理由  
水族館が好きで、魚の飼育をやってみたかったし、水族館の仕事に興味があったから調べました。

まとめ  
この仕事はぼくが思っているよりたいへんだったけど、やってみたいなと思った。

\*イラストは、村井里津子氏が制作し、北海道アルバイト情報社のサイトに掲載された作品

資料7-2 子どもが作成した報告書②

# スタイリストのひみつ!発見

## スタイリストの仕事って?

主にCMやドラマや雑誌に出るタレントの服や小物をコーディネートする仕事です。

## スタイリストになるまで...

一般的に....

```

        graph TD
            A[高校] --> B[服飾系専門学校]
            B --> C[事務所]
            B --> D[フリー]
            
```

## 収入はいくら? 円

事務所に入るなら....  
 だいたい年収 ..... 200万~500万

フリーなら....  
 0円だってありえる!!

## スタイリストのやりがい

自分かしたスタイリングに喜んでもらえること。

## スタイリストの苦労

トラブルが続出する毎日.....  
 たけど、冷静に対応する力がかんはる!!

## スタイリストの1日

### ファッション雑誌の撮影

9:00 スタジオ入り  
 ↳アシスタントと共に、衣装の確認する。

9:30 打ち合わせ

10:30 モデルのコーディネート  
 ↳ヘアのイメージを確かめ全体像の最終確認する。

11:30 撮影スタート!

14:00 昼食

15:00 撮影後半スタート!

18:00 撮影終了!

19:00 画像チェック!  
 ↳雑誌に使う写真を選ぶ

20:00 終了!!  
 ↳お仕事終了!おつかれさまです。

## 秘. スタイリストに向いてるかも?

- 情熱がある人
- 努力する人
- 体カがある人
- 精神面に強い人
- 気配りできる人
- ファッションが大好きな人

## まとめ

大変なこともあるけどやりがいもたくさんあるから、調べてみてもっとスタイリストになりたいと思いました。

資料8 子どもに提示した求人広告と提示した時の様子

<h2 style="color: green;">求人広告</h2>	
事業所名	D (株)
連絡先 (担当)	八女市立花町 工場長: さん
募集人員	6 名 ※男女は問いません。
仕事内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教材の製品仕上げ(ラベルはり)</li> <li>・ 文具のり製品仕上げ(同上)</li> <li>・ 製品の梱包・梱包用箱づくり</li> </ul>
事業所 より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 元気で明るく、あいさつがきちんとできる職場のふんいきを大切にできる方</li> <li>・ 物づくりが好きで、開発に興味のある方</li> <li>・ 物づくりに夢をもち、発想力のある方</li> <li>・ やる気のある方</li> </ul> <p>※職種により給与の支給が異なります。 本来は、危険物取扱免許などが必要ですが、今回の募集では、資格の有無は問いません。</p>
準備物 服装など	<p>○服装 : 体操服・紅白ぼうし</p> <p>○準備 : 弁当・水とう・筆記用具</p>



資料9 事業所においていただいた勤務評価表原本

# あなたの今日の勤務評価

( )様

勤務内容について ※黒太枠のみご記入ください。

評価項目	評価
1 本日の業務について、十分に責任を果たせていたか？	記号に○を A B C 十分←→不十分
2 職場の方々とのコミュニケーションは上手くとれていたか？	記号に○を A B C 十分←→不十分
3 相手(お客さん・サービスを受ける人)の立場を考えた仕事や自分が作った物を使うお客さんの立場などを考えた仕事になっていたか？	記号に○を A B C 十分←→不十分
総合判定	記号に○を A B C 十分←→不十分

給与について ※黒太枠のみご記入ください。

基本時給A	勤勉率C	労働時間D
円	%	5 時間
児童条件による減額B	交通費E	給与 : $(A - B) \times C \times D + E$
円	0 円	

事業所の方よりのアドバイス 長所・課題を率直にお書きください。

-----

-----

-----

資料10 職業体験学習①の様子とふり返し活動



製造業者の工場で働く子どもたち



保育園で園児の世話をする子ども



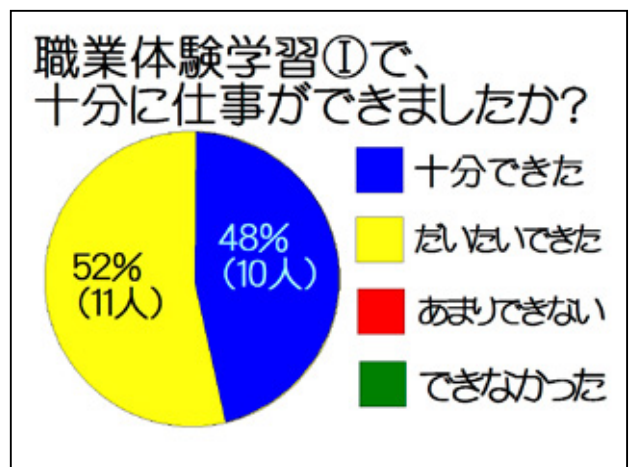
高齢者福祉施設でシーツ交換を教わる子ども



保育園で給食の世話をする子ども



学校にもどりふり返しを行う子ども



ふり返しにおける自己評価の結果

資料11 子どもが受け取った勤務評価表とその反応

あなたの今日の勤務評価 ( )様

勤務内容について ※黒太神のみご記入ください。

評価項目	評価
1 本日の業務について、十分に責任を果たしていたか?	記号に○を A (B) C 十分→不十分
2 職場の方々とコミュニケーションは上手にとれていたか?	記号に○を A B (C) 十分→不十分
3 相手(お客さん・サービスを受ける人)の立場を考えた仕事や自分が作った物を使うお客さんの立場などを考えた仕事になっていたか?	記号に○を A (B) C 十分→不十分
総合判定	記号に○を A (B) C 十分→不十分

給与について ※黒太神のみご記入ください。

基本時給A	勤怠率C	労働時間D
724 円	100 %	5 時間
児童条件による減額B	交通費E	給与 (A B)×C×D+E
424 円	0 円	1500 円
300		

事業所の方よりのアドバイス 長所・課題を率直にお書きください。

笑顔が多く、子どもが好きな気持ちで伝わってきました。周りによく見て動いていたと思います。子ども達によく聞こえるように声を大きくすると、何事も手を出さずに少し見守ることができたことよくなるかなと思います。保険社との話も目を見て自分の意志を伝えること良いですね。

子どもが受け取った勤務評価表



勤務評価表を読む子ども

3 勤務評価表を読んで、感じたことや考えたことを書き残しておきましょう。

勤務評価表には「速く読んでたくさん聞いてください」と書いてあったので、自分でも、もっと質問しないといけないなと反省しました。自分で職場体験の評価をしたときは「だいたいでした」に丸をつけたけど、きん張してうろろしたり、読み聞かせではさすががたりしていたので、先生方から見ると、全てBになってしまったんと思います。自分では努力していても、周りから見れば、あまり話していなかったり、手伝ってなかったり見えなかったんと思いました。次回職場体験に行くときは、前回よりたくさん質問して子供たちとの会話がもっと増えて信頼してもらえるようにしたいです。

勤務評価表をもとにした子どもの考え

資料12 職業体験学習IIに向けて改善策を考える子どもたち



職業体験学習Iの動画を見て考える

③ 勤務評価表を見て、もう一度課題について考え、改善策を話し合おう。

【2日目に向けた課題】  
あいさつや返事をしっかりする。

【改善策】  
目をみて気持ちをはっきりとあいさつする。  
分がたは「はい」と目をみてうけけど分がたらない時は、はさすがらずにちゃんと「分かりませう」などをいう。

まとめ  
自分のかかある人、全てを意識してかかある工夫をしよう。

課題と改善策をメモしたノート

資料13 職業体験学習Ⅱの様子と仕事内容

(1) 学習の様子



園児と一緒に楽しむ子ども



積極的に園児に声をかける子ども



笑顔で販売所の店番をする子ども



お年寄りに話しかけながら作業する子ども

(2) 各事業所での業務内容

事業所	子どもたちが体験した仕事内容
市役所〇〇支所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市のマラソン大会の清掃作業（飲料水容器洗浄）</li> <li>○市の子ども向けイベントの商品袋詰め作業</li> </ul>
A 保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員ミーティング</li> <li>○園児の生活支援（ミルク・食事・おやつ・着替え・排便・遊び・本読み）</li> <li>○園内の環境整備</li> </ul>
B 保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員ミーティング</li> <li>○園児の生活支援</li> <li>○園外活動の引率（ミルク・食事・おやつ・着替え・排便・遊び・本読み）</li> <li>○園内の環境整備</li> </ul>
高齢者福祉施設 C 苑	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まくらカバー・シーツの交換</li> <li>○お茶や昼食のサービス</li> <li>○話し相手・散歩</li> <li>○レクリエーションの世話</li> </ul>
D(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○製品へのラベル添付とダンボールへの梱包</li> <li>○おもちゃ製品の袋詰め</li> <li>○新商品の開発会議</li> </ul>
地域交流センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地元特産品販売コーナー</li> <li>○館内の清掃</li> <li>○入浴コーナー（チケット切り・バスタオルの補充）</li> </ul>



資料14 働くことの価値についての考えと職業体験活動のアンケート結果

(1) 製造業で働いた子どもの考え

お金をかせぐ、いいに働かみはこのように人をかう人が  
 かけた人のことを考えてつくってきれいにすることを心が  
 けてつくるので、できたときにうれしい気持ちになりました。

(2) 保育園で働いた子どもの考え

とてもたいへんだった。この仕事体験をして良かったと思うことは、  
 これからの将来でいつか、またときにこうしたらいいかはこのことを思い出  
 せばいいからだ。子どもたちに、「先生」といってくれたときにじぶんでは  
 ないけど、少しは先生になれたかな。と思うことができた。  
 2日間とても大変だったけど、保育士の方は2倍、3倍働いているので  
 働いている人の気持ちを考えて、今度からは大切にお金を使っていきたい。  
 働くのはお金だけでなく自分をきたえる仕事だと思った。

(3) 地域交流センターで働いた子どもの考え

接客の仕方や職場の方々とのコミュニケーションの仕  
 方、社会人としてのマナーや言葉遣いなどが身に付いたと  
 思います。今後、  
 とを利用するときにはいつも  
 利用するときにはちかう目線で利用しようと思  
 います。前回まかせてもらえなかった仕事を今回はまか  
 せていたため、前回の反省点をよく考えなおらな  
 ければならぬこと、  
 の方々に分かってもらえたのがな  
 と思うし、信らっていたため、分かってもらえたのかと思  
 いました。

(4) アンケート結果

